

RIテーマ

MANKIND

IS OUR BUSINESS

人類が私達の仕事

2001年-2002年度 週報

国際ロータリー第2750地区多摩東グループ

東京多摩グリーンロータリークラブ

Weekly Report



クラブ会長
テーマ

増強と活力、飛躍と理解、友情と感動

2002-5-15 第558回例会 NO.12-42 2002-5-22 発行

◎司会

SAA委員 小林 正

◎点鐘

会長 足立潤三郎

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」

ソングリーダー 吉沢 洋景

◎会務報告

会長 足立潤三郎

1. 本日3時より東京府中ロータリークラブの創立40周年記念式典が行われます。当クラブからも16名の方が参加登録をされております。
2. 本日の卓話は、地区の「R財団情報増進委員」として活躍していただいている赤尾会員が財団関係のビデオを使って、お話しいただくことになっております。

◎幹事報告

幹事 加藤喜三郎

1. 東京狛江多摩川ロータリークラブより例会変更の通知が来ております。

◎次年度会長報告

会長エレクト 小坂 一郎

1. 次年度は活動報告書をA4版で作成することになりました。
2. 新会員の正房さんには、次年度会報委員会に入ってくださいことにいたしました。
3. 17日の地区協議会出席の方は遅れないようお願いいたします。多摩センター、8時半に出発したいと思います。

・欠席者：福島 達也、菊池 敏、北村 幸彦、佐伯 和廣、関岡 俊二、高木 淳光、高村 弘、由井 眞司、阿部 華歌、宮村 宏

・補填MU：福島 達也：5/14 野球幹事会
高木 淳光：5/8 被選理事会
関岡 俊二：5/13 藤代RC

◎ニコニコBOX

親睦活動委員 藤原 正範

足立潤三郎 赤尾会員卓話お世話様です。宜しくお願
いします。
加藤喜三郎 赤尾さん卓話よろしくお願ひします。
津守 弘範 赤尾さん卓話よろしく。
赤尾 恭雄 「1日27セントの善意」をご理解いた
だき「財団の友」会員として、一人でも
多くの誓約を期待します。
藤原 正範 季節の変わり目です。皆さんお身体にご
留意下さい。
小林 正 先週の例会の日に、新宿で多摩の年間報
告をしてまいりました。おかげ様で無事
終了しました。
村上 久 田中さん何時も元気そうですネ！
根本 泰守 息子夫婦がインドネシアバリ島RCで現
地のロータリアンにお世話になりました。
ロータリーは素晴らしいですね。
杉山 秀巳 月曜日の公証人のテレビドラマを見てい
ただきましたか？

[委員会報告]

本日の合計¥13,000(累計¥932,347)

◎出席報告

出席委員会 小林 和夫

- ・会員総数 42名
- ・出席義務者数 41名(出席免除者3名)
- ・出席者数 31名
- ・欠席者数 10名(事前MU2名)
- ・出席率 80.49%(33/41)

◎その他の報告

加藤喜三郎会員

1. 昨日東グループのゴルフと野球の幹事会があり、ゴルフ幹事として出席しました。次年度のことですが、第1回目の東グループゴルフは10月17日、桜ヶ丘カントリーと決まりました。二回目は読売ゴルフ

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会 長】足立潤三郎 【幹 事】加藤喜三郎 【委員長】根本泰守 【副委員長】藤原正範

【委 員】田島真由美・佐伯和廣・高木淳光・宮本誠・小泉武男

クラブで来年5月とだけ決まりました。

2. 当クラブ第49回のスクラッチ会を6月6日に行います。会長幹事杯の取り切り戦ですので多数の方の参加を期待しております。

◎会務報告補足

会長 足立潤三郎

ーガバナー月信の紹介です。ー

まずガバナーメッセージを紹介します。

「この3月現在、地区のR財団及び米山奨学会寄付は昨年度実績を大幅に下回っている。クラブ毎に目標達成率をチェックして欲しい。RIも提唱しているように、各クラブにおいて一人100ドル会員＝財団の友会員を増やすキャンペーン、出来れば全会員が財団の友会員となるキャンペーンされては如何であろうか」ということです。ちなみに我クラブの本年度目標は既に達成されております。

次に、「六本木の国際文化会館のフロントヤードの植え込みの中に、国際ロータリー50周年記念碑がひっそりと建っており、日本のロータリアンの誰にもその存在さえも知られていない。大変残念である」旨の手紙が東京小石川RCの村瀬さんという方から届いているということが書かれています。

◎卓話 R財団関連ビデオにそって

地区R財団情報増進委員 赤尾 恭雄

本日は殆んどビデオが喋ってくれますので最後のお礼もビデオに言ってください。

今日のビデオのテーマは二つです。

一つは「財団寄付金の仕組み」、特に恒久基金に対する寄付の重要性について。

もう一つは「平和と紛争解決のための国際問題研究ロータリー・センター」に関するものです。このロータリー・センターはロータリー長年の夢であったロータリー大学に替わるものとして、7カ国8大学の協力によって実現したもので、日本では国際基督教大学が参加しています。目的は国際紛争解決の専門家を養成することです。そしてこれは、ポリオプラスに替わってR財団の21世紀の大プロジェクトになるとされているものです。

・・・ビデオの内容・・・

百聞は一見に如かず、とても文章で伝えるのは無理です。但し

1. 「財団寄付金の仕組み」については

- ・ R財団の効果あるプロジェクトのためには恒久基金が不可欠であること、
- ・ 恒久基金はその運用利益のみが財団プロジェクトの費用に配分されるものであること。
- ・ その為には基金の目標を10億ドルとし、とりあえずロータリー100周年の2005年までの目標を2億ドルとしたい。

という主旨であった。

2. 「・・・ロータリー・センター」については

- ・ 国際紛争解決の専門家としての経験や実践的訓練の様子などが紹介され
- ・ アッパーカットの派手さは無いけれど、世界平和のためにはボディブローとして確かにあとで効いてくる筈だという
- ・ これぞロータリーらしいプロジェクト。というものであった。

・・・再び赤尾会員の言・・・

- ・ R財団のプロジェクト予算安定のためには、是非とも「財団の友」会員の登録を願いたい。それは1日たった27セントの負担であることを認識して欲しい。
- ・ 寄付だけでなく、財団資金を使えるプロジェクトの企画が欲しいものである。同額補助金などは、従来国際的プロジェクトであること、外国RCとの共同プロジェクトである事等の制約があつて、実際的には難しい面があつたが、近年、CAPという地域社会還元プロジェクトにたいする補助システムも出来たので注目して欲しい。

◎点鐘

会長 足立潤三郎



(今週の担当 宮本 誠)